

平成23年度 1年間ありがとうございました!

例会日より (お別れ例会)



大自青季報
春 第16号



大阪自動車青年会議所
<http://daijisei.com/>

平成24年4月1日発行

三月一〇日(十一日) 福岡県博多市 アイピーホテル福岡においてお別れ例会が開催されました。「今考える!大自青の現状と方向性」と題し田中君、北川君をコーディネーターにOBの篠田・矢野・大本先輩を交え会員の会員増強について話し合われた。魅力ある会の運営や広報活動を積極的にすべき等、多様な意見が出され新たな会の方向性について熱のこもった例会となりました。最後に各メンバーが一丸となつて新規会員入会を促進するよう士気を高めました。

例会後は懇親会を開催し地元料理に舌鼓を打ち、杯を交わしました。

翌日にはメンバー全員で大宰府天満宮に参拝し、商売繁盛、家内安全を祈願し無事例会を終了しました。

平成24年度 5月度例会のお知らせ

テーマ：会社を良くするためのfacebook活用法

日時：平成24年5月10日(木) 18:30~

会場：三井住友海上 大阪淀屋橋ビル 4階 中会議室C (大阪市中央区北浜4丁目3番1号)

講師：橋爪 敦哉 氏 エイチアンドダブリュー株式会社 代表取締役

facebookを個人のブランディングツールとして使ったり、ビジネスとして集客に成功する企業も増えてきました。しかし、どのように使えばいいのか?何がいいのか?など、自分の会社に置き換えたときに、「基本的な使い方」が、まだ認知されていないのが現状です。

そこで、本セミナーでは、facebookを使う前に必ず知っておきたい考え方や、「いいね!」を増やすためのコミュニケーションの仕方など、今後、「facebookをビジネスに使いたい!お客様のファンを増やしたい!」という方のために、テクニック論ではなく、「必ず抑えておかなければならないfacebookの基本的な考え方」を、ご理解いただけるセミナーとなっております。まだ全くfacebookを使ったことが無い、という方へも、日常生活に照らし合わせて、何が便利なのか?なども、facebookの良さが体感いただけるセミナーとなっておりますので、是非、ご参加ください。

詳しくは大阪自動車青年会議所事務局 宮城(TEL:06-6613-1191)まで

例会だより (新年例会、2月度例会)



新年があけまして一月十二日(木)大阪市中央区のハリハリ鍋の徳屋にて新年例会を開催いたしました。OB会員、永久会員、現役メンバーが集結した後藤会長の挨拶の後、和やかに例会スタートいたしました。美味しいクジラ料理のフルコースとお酒を酌み交わしながらOB・永久会員の諸先輩方と今年の抱負を語り合い、共に助けあつてこの時代に生き残ろうと話し合わせ、OB・永久会員との深い交流が持てた楽しい例会でした。

最後にご参加いただきましたOB・永久会員の皆様、本当にありがとうございました。



二月二日 午後六時四十五分より上本町たかつガーデンにて二月度例会が開催されました。

「いっしょに描こう! 明るい未来予想図」と題し経営戦略委員会(春田茂樹委員長)が一年を通して勉強、研究した内容を発表しました。優良企業への会社訪問。経営戦略の立案。SWOT分析の説明、各委員会メンバーが行ったSWOT分析の結果等を発表しました。

また、例会にはオブザーバーの方々にも参加していただき有意義な例会となりました。

特別寄稿 其の1

「ありがとう 大自青」～卒業を迎えて～



田中徳彦会員

平成15年入会 田中徳彦

本年度3月を持って大阪自動車青年会議所を卒業させていただきます。ちょうど大自青が30周年で北川会長の年度に途中入会させていただきました。入会即30周年の式典だったことが昨日のこのように思い出されます。まずを持ちまして大自青現役メンバーの皆様、OB、永久会の先輩諸兄の皆様、そして事務局の整備振興会 宮城さん、前任の室さん、大自青でご縁をいただいた全ての方々に感謝の気持ちとお礼を述べさせていただきます。本当にありがとうございました。

入会当初の2年間は他団体など掛け持ちしていたこともあり、なかなか例会、委員会に参加できず、あまり良くない会員であったと思います。他団体を卒業した40歳の境に大自青の活動にのめり込んで行きました。きっかけは入会時の会長であった北川さんに背中を押されたことが大きかったと思います。大自青活動を一生懸命にやることでメンバー同士のつながりが生まれ、その人脈というのは自分にとって掛替えのない財産となりました。それから5年間役員をさせていただきました。人と人のつながりがいかに大事かということを勉強させていただきました。特に昨年度会長をさせていただいた年度は自分の至らなさから色々な難題に直面しましたが、それを乗り越えることが出来たのもメンバーのサポートのお陰だと感じています。自分ひとりで出来ることはたかが知れています。しかしメンバーの知恵や力を借りることで、どんなことでも乗り越えていける。それを体験できたのがまさしく大自青でした。

近年、大自青では現役会員の減少が問題となっています。いろんな方に入会をお声がけさせていただく機会が増えました。その度に「大自青入会のメリットは」という質問をされたり、またそのことについて自問自答しますが、わたしはこう思います。同業者の会なので、有益な情報を得たり、様々な人脈が出来たり、悩みを相談したり有形無形のプラスは必ずあります。自分に必要なものを得ようとする向上心と、ほんの少しの勇気を持ってまず飛び込んでみて下さい。そして自分自身に投資をすると、会のために時間もお金も使ってみて下さい。一生懸命に取り組むことで周りから必ず自分にとってのメリットとして自分に必要なものが返ってきます。何も行動を起こさないうちは勝手には返ってきません。自分自身を成長させてくれる機会を与えてくれるのが、大自青最大のメリットです。何かに打ち込めるのは青年と呼ばれる間だけです。一人でも多くの若いメンバーが増えてこの素晴らしい大自青が50年、100年と続いて行くことを願っております。

この言葉を現役最後の言葉にさせて下さい。 ありがとう大自青。

大募集！！ 平成24年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒になって活動していただける新入会員を募集しております。大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月1回例会を開催し、会社経営に関する事、整備技術に関する事、自己のスキルアップにつながる事など、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪青年会議所事務局
 社団法人 大阪府自動車整備振興会内 担当 宮城
 TEL: 06-6613-1191 (振興会 代表)
 ホームページアドレス <http://daijisei.com/>

特別寄稿 其の2

平成23年度 1年間を振り返って

平成23年度 会長 後藤太郎



後藤会長

平成23年度を振り返ると、東日本大震災による地震、津波に加え原発の事故、タイの大洪水による日系企業の部品生産の遅れなど、需要と供給の両面におけるショックを受けることとなり、自動車業界だけでなく、日本経済に大きな影響を与えました。

このような状況の中、我々大自青はめまぐるしく変化する自動車業界について、しっかりと把握し、変化に適応出来るよう、会員間の連絡を密に取り合い情報を共有し、縦横のつながりを取り合うために、「大自青Revolution」をスローガンに掲げ、会員一人一人が思いやりの絆で結びつき、事業に取り組み、より連携を深めていけるよう大自青活動に取り組んで参りました。

今年度会長を努めさせて頂き、今まで経験した事の無い出来事や、沢山の方々のお話を聞く機会を与えて頂き、私自身常に前向きに物事を考えられる様に変わる事が出来ました。一時は時間に追われ大変な時期もありましたが、そんな時は仲間や先輩方が支えてくれました。会長を引き受けるのかを迷っている時に、ある先輩から「これ程自分自身が成長できる一年間は無い」、「自分自身の器を大きくする絶好の機会」「会長という職を楽しめよ」と背中を押して頂きました。会長の任期を終えた今、率直な感想を一言で言うと「楽しかった!」です。この様な貴重な経験をさせて頂き本当に感謝しております。今年度私が経験させて頂いた事を、是非とも数多くの方に経験して頂きたいです。

平成24年度は直前会長という立場から、古くからの友人であります金岩会長、そして大自青を、一生付き合える仲間と一緒に支えていきたいと思えます。

最後になりますが、関係官庁、関係諸団体並びに諸先輩方にご指導いただきましたこと、会員諸兄の絶大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。本当に一年間ありがとうございました。

「サッカーのチカラ」

総務委員会 森内 克行

サッカーはボール以外に特に重要な道具を必要とせず、ルールも単純なため、先進国のみならず経済水準や教育水準が低い国に至るまで広く普及している。世界中のほとんどの国でナショナルチームが組織されていることはその現われの一つです。母数が多いため、純粋な統計を調べることは難しいですが、競技人口および国際的な認識が最も高いスポーツの一つであるといえ、そのサッカーの祭典とも言えるべきFIFAワールドカップはオリンピックを超える世界最大のスポーツイベントとなっています。

このように、サッカーは唯一世界共通のスポーツとも言え、世界各地で災害などが起きた時は各サッカー協会などを通じて、さまざまなボランティア活動や復興支援が行われています。

昨年の東北地方太平洋沖地震においても日本サッカー界のみならず、世界の各サッカー界からの復興支援や世界の有名選手からの励ましやメッセージやボランティア活動がありました。これも世界共通のスポーツ「サッカー」のチカラだと思えます。

私は、昨年震災直後の3月29日、大阪長居スタジアムでの日本代表対Jリーグ選抜の「東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチ」ががんばろうニッポン!」において、世界各地で活躍している日本選手が復興のために日本に帰ってきた、少しでも役に立ちたいという気持ちで試合をしてくれたのが、すごく印象に残っています。

今年度はW杯ブラジル大会のアジア3次予選を突破し、いよいよ最終予選に突入です。最終予選には3次予選を勝ち上がった10カ国が進み、抽選で2組に分けられ、各組の上位2カ国が本大会の出場権を得ます。各組3位はホームアンドアウェイで第5代表決定戦を行い、勝者が南米予選第5代表との大陸間プレーオフに進みます。今年3月9日、FIFAワールドカップ2014ブラジル大会・アジア最終予選の組み合わせ抽選がマレーシア・クアラルンプールで行われ、5大会連続5度目の本大会出場を目指す日本はオーストラリア、イラク、ヨルダン、オマーンと同じB組に入りました。

オーストラリアと同組になったのが厳しいと思いますが、何とかサムライ魂を背負って最終予選を突破し本大会出場権を獲得して、日本の震災復興のみならず、景気回復に「元氣」と「チカラ」を与えてほしいと願っています。